

サッカーが平和を創る

ワールドカップサッカーとユニセフ

ユニセフと国際サッカー連盟 (FIFA) は、1999年以來、サッカーを通じて、子どもたちが平和な世界で生きる権利を実現するために、パートナーとして活動をしています。

6月に開催された2006FIFAワールドカップ™(ドイツ)では、「UNITE FOR CHILDREN. UNITE FOR PEACE.(子どものために、平和のために力を合わせよう)」キャンペーンを展開し、すべての子どもが紛争や虐待のない平和な世界で生きる権利があることを、世界中に呼びかけました。



©UNICEF/HQ04-0847/François d'Elbee



子どもはスポーツや遊びを通して多くのことを学びます

サッカーは、世界の子どもに最も親しまれているスポーツのひとつです。子どもにとって「共通の言語」となりえるサッカーは、子どもが平和な社会で成長できることを実現するための、最も効果的な手段にもなるのです。

「子どもは、休んだり、遊んだり、文化・芸術活動に参加する権利があります」

「児童の権利に関する条約」(子どもの権利条約) 第31条



スポーツから学ぶこと

ユニセフはスポーツが子どもの成長にとって重要な役割を果たすと考えています。

● 人生の模擬体験ができる ●

スポーツや遊びを通して、子どもたちは判断することを覚え、問題解決の方法を探しながら論理的に考える方法を身につけることができます。友情、結束、フェア・プレイ、チームワーク、規律、信頼、他者への尊敬、リーダーシップなど、生きる上で大切な多くのことを学べます。

● 「平等」を知る ●

スポーツを通じて、子どもは、さまざまな場面で、「平等」という概念を学びます。

● 「希望」を持つ ●

紛争、その他の緊急事態においても、スポーツは、子どもに希望や平常心を提供します。

● 「平和」を培う ●

スポーツは、文化や民族の違いを超えた、永続的な平和を培うためにも役立ちます。子どもは、緊張を和らげ、対話を促進し、暴力や搾取などに頼らずに問題を解決する方法を知ることができるのです。

校庭や運動場、路地や裏通りなどで行われているスポーツは、子どもたちの健全な発達に大きな役割を果たしている。子どもたちに働きかけ、いろいろなことを教えていく手段としても、ますます重要性を増している。

©UNICEF/HQ05-0596/Josh Estey



©UNICEF/HQ04-1017/Giacomo Pirozzi

